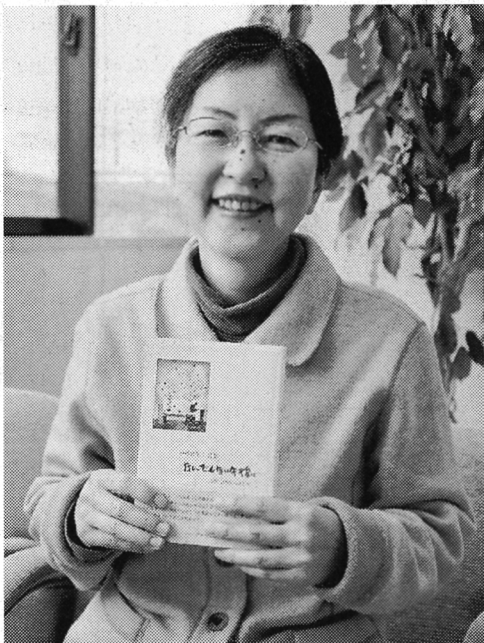


読む人に癒やしを



今回発刊された詩集と中村さん

米子の中村さんが詩集

米子市在住の詩人、

中村さんは大山町富

作にも取り組んでいる。

中村真生子（本名・富

長の出身で、大学卒業

中村さんにとって5

土子）さん(54)が、詩

後、東京でコピーライ

作目の詩集だが、編集

集「なんでもない午後

タリ、雑誌ライターとし

者を介した本格的な出

に「山陰・日野川のほ

て活躍。15年前に米子

版は今回初めて。20

とりにて」（コールサ

市に拠点を移し、ライ

10年から12年かけ

ック社）を発刊した。

フワークとして詩の創

てブログにつづった干

編以上の詩の中から、101編を収録している。日常の中に見いだす幸せを言葉の旋律にのせた詩が読む人たちを癒やす。

中村さんは「日常生活には、つらく大変なことがあるが、詩を讀んで気分転換し、前に進んもらえたらうれし」と話している。

四六判、240頁、1470円。

（天満浩子）